

(様式3)

平成29年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第三中学校

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要(実施内容)	評価指標 取組指標(教師側指標) 成果指標(子ども側の指標)
<p>【三中てらこやの充実】 伝統の「三中てらこや」を即効性のある学力向上策として実施する。学力向上調査、各種検定での成果をさらに基礎・基本の定着で検定合格実績を伸ばす。</p>	<p>週2日、夜7:00~8:30 プリント学習コース、各種検定級別学習コースを実施する。教員志望の学生を採用し、チームで指導する。指導補助として保護者の参加を募る。</p>	<p>【取組指標】…年間約40日以上の実施を目指す。大学生を中心とする外部人材主導の運営を確立させる。 【成果指標】…全国、都、荒川区の各種学力向上調査においてそれぞれの正答率を上回る成果を目指す。前年度の数値を超えることが目標値。</p>
<p>【学校図書館学習センター化・情報センター化推進】 学校図書館の授業活用を全教科で実施し、数値目標を掲げて検証する。書籍の整備等を積極的に行い、調べ学習等に活用する。</p>	<p>学校図書館授業を日常的に進め学習センター化を一層進める。本探のソフト活用や教室での書籍活用を進める。学校図書館改革を加速させる。</p>	<p>【取組指標】…授業活用を積極的に進め、下記の数値目標を達成する。学校図書館開館日を245日以上、学校図書館授業年210回以上とする。 【成果指標】…図書館利用者生徒数を累積16,000人以上、貸出冊数累積8,000冊以上数値目標を達成する。</p>
<p>【教科指導でのタブレットPC、ICT機器活用の推進】 授業での効果的なタブレットPC活用により、授業内容の充実・工夫改善を行う。電子教科書等のICT機器活用で授業改善を行う。</p>	<p>授業においてタブレットPCの機能、有効なソフト活用により教科指導の充実を図る。 ・補習活動での学習ソフトを活用や電子教科書による授業改善を行う。</p>	<p>【取組指標】…教科指導におけるタブレットPC使用率を前年度比で120%を目指す。電子教科書、ソフトの日常的な活用で授業改善を行う。 【成果指標】…ICT機器活用の授業により教科の理解度を高め、学力調査の結果を公表する。</p>
<p>【研究推進で授業力向上】 荒川区研究指定校「アクティブラーニング」の研究を通じ、授業力向上を目指し学力向上へ結びつける。</p>	<p>研究指定校として年間を通じて研究授業や協議会を行い、授業水準を高いレベルまで上げる。 ・学識経験者に指導を仰ぎ、平成30年2月16日に研究発表会を実施。</p>	<p>【取組指標】…年間約40回に及ぶ研究授業を実施し、学力向上に結びつく指導方法の在り方について研究する。先進的な研究を実践する。 【成果指標】…アクティブラーニングの研究のため生徒の能動的な学びを実践できるようにする。</p>
<p>【各種検定推進学力向上】 各種検定の受検率、合格率を向上させ、さらに高い合格率を目指す。検定教材の充実や補習活動を推進し、検定に挑戦する過程で学力向上を図る。</p>	<p>「三中てらこや」の検定コース、授業での指導、放課後補習において検定問題集等を活用しながら実力を高めるとともに検定合格者を増やす取り組みを行う。</p>	<p>【取組指標】…本校での準会場受検を3種類で毎学期実施し、年間で9回の受検機会を提供する。 【成果指標】…各種検定(英検、漢検、数検等)のそれぞれで受験者数、合格者数を前年度比、各級1.3倍を目指す。</p>

【評価】 成果指標の達成度から評定（A・B・C）

A：達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する

B：達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C：達成度が5割未満 → 目標の見直し

予算執行	取組の成果	評価